



学校法人イーエスピー学園 専門学校 ESP エンタテインメント福岡

2021 年度 学校関係者評価 報告書

(基準日 2022 年 3 月 31 日)

・学校関係者評価の概要

【体制】本校では音楽、芸能等の設置学科に関連する福岡県内の企業と共に、地域活動団体、卒業生を評価委員とした「学校関係者評価委員会」を組織することとします。

【実施方法】学校関係者評価委員会では本校職員で組織する自己評価委員会により作成された「自己評価報告書」に基づき、評価項目である学校の運営状況、教育活動状況、学修成果として卒業生の進路の状況等を報告します。学校関係者評価委員会は報告書の内容を受け、客観的な視点から現状を点検・評価します。

【方針】本校職員以外の学校関係者評価委員会を組織、実施することによって、透明性を高めると共に学校に対しての理解、連携、協力による「改善」を図ることを基本方針とします。

・学校関係者評価委員会

専門学校 ESP エンタテインメント福岡の学校評価実施規程に基づき、次に掲げる区分から校長が委嘱する委員により構成します。

(1) 関連業界等関係者 2名以上

(2) 卒業生 1名以上

(3) 地域活動団体または在校生の保護者 1名以上

- ・松下 典由(合同会社 mou music・関連業界等関係者)：出席
- ・椎木 辰哉(株式会社スタッフ・関連業界等関係者)：出席
- ・藤本 正明(特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN・地域活動団体)：出席
- ・武藤 海(株式会社ランド・関連業界等関係者)：出席
- ・黒木 陽月(第2期卒業生)：出席
- 専門学校 ESP エンタテインメント福岡
- ・村本 英之(専門学校ESPエンタテインメント福岡学校長)：欠席
- ・櫛 和男(副校長・教務課音楽アーティスト科)：議事進行：出席
- ・池田 房代(副校長・総務課)：議事録作成：出席

・報告書

学校関係者評価委員よりいただいた意見等の要旨をまとめ本報告書にとりまとめました。

1 教育理念 目的 人材育成像

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

理念・目的・育成人材像は定められているか	4
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

・関連企業から求められる人材、求められる知識技術を十分にヒアリングし、現代社会のニーズに合った目的と育成人物像を設定している。また、それらを学科毎に詳細に設定したため、より専門分野に特化した内容となっている。同じ音楽芸能分野でありながら学科毎に適性の異なる職種を目指すため、この詳細設定は非常に的を射たものと自負している。

・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、本校の特色である「現場主義」を前面に打ち出した教育活動を実施。対面授業を進めつつ理念に基づいた人材育成を実践している。関連企業との連携により、コロナ新時代に対応する人材を育成するため業界のニーズを取り入れ、配信技術、映像編集、Vtuberに関するセミナーなど新たな取り組みを行った。移り変わりの早い音楽芸能分野の最先端技術・知識を常に取り入れ学生に提供することを一番の特色として実施している。また社会のニーズに対応するため、分野別実習という学科を越えた選択授業を実施し、学生自らが将来像を描ける特色あるカリキュラムを準備している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

- ・網羅されていると思います。
- ・コロナ禍でも対面授業を続けていただいていることはとてもいいと思います。
- ・卒業生ですが、私は1年生で有観客、2年生でオンラインライブを経験出来て逆によかったと、前向きにとらえています。
- ・当社では、卒業生や新入社員を継続して採用し、昨年同様、コロナ明けを見越して動いていますが、本当にコロナが長すぎます。

【改善方策等】

・ご意見いただいたように、今後も対面授業を続けていけるよう新型コロナ感染症対策を万全にしつつ努力してまいります。アフターコロナを見据えて、一層、音楽芸能分野、求められる人物像の変化に、素早く対応していくことが必要であると認識しています。引き続き、ホームページで広く理念や教育目標を公表しつつ、常に業界との連携を意識し動向を注視して、迅速に対応していけるよう準備を進めていきます。

2 学校運営

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

理念・目的・育成する人物像に沿った運営方針を定めているか	4
運営方針に沿った事業計画を定めているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化し有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

・理念、目的、育成する人物像に沿った運営方針を職員会議によって定め、学科部署課毎に経費策定を行っている。全体像が見えたのち事業計画を定め文書化している。

・人事給与制度については目に見える形での評価と給与の連携について改善を実施する予定である。

・入学希望者の個人情報から学生情報である成績出席の管理を、一つのアプリケーションに集約し効率化が図られている。来年度からはデジタル出席簿を導入し、一層の業務効率化を図る予定。

・校内Wi-Fiはオンライン配信に対応できるよう更なる整備を行った。今後も校内インフラは見直しをかけ充実化を図っていく予定。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

- ・人事を自己評価で3にされていることは改善する意欲があるという意味で評価できます。時間はかかるでしょうが、改善していただきたいと思います。
- ・人事面は、時間と報酬のバランスが重要になってきたと思います。その点では工夫が必要になる時代かと思っています。

【改善方策等】

・Wi-Fiの改善に次いで、検温システムの導入を完了し、来年度はペーパーレスの一環として、デジタル出席簿の導入を予定しています。コロナ禍ではありますが、業務効率化を進めることは急務だと思っております。また人事制度面において、学園全体で取り組み、改善に向けて努力してまいります。

3 教育活動

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
学科毎に修業年限に対応した教育達成レベルを明確にしているか	4
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3
教育課程について外部の意見を反映しているか	4
キャリア教育を実施しているか	4
授業評価を実施しているか	4
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
資格取得に関しての方針は教育課程で明確に位置づけているか	4
資格取得の指導体制はあるか	4
資格要件を備えた教員を確保しているか	3
教員の資質向上への取組を行なっているか	3
教員の組織体制を整備しているか	4

・学科毎にディプロマ・ポリシーと教育目標を定め、それに基づきカリキュラムを策定している。

・学校関係者評価委員会を毎年実施。それ以外でもインターンシップやオーディションなどで業界とのつながりを強化し、職員が教育界と業界をつなぐ努力を続けている。

・教育目的や目標に沿ったカリキュラムを実施しているが、達成レベルを一層高めていくことが課題。結果を講師と職員で共有しつつ改善を図っていききたい。

・授業評価について、学生へのアンケートを学科ごとに年2回程実施。学生のストレートな意見を収集し、講師へのフィードバック後、講師への指導やカリキュラムの改善を行った。

・資格取得希望者は今年度格段に増加した。コロナ禍において、ガイダンスや個人面談でも資格取得の重要性を説き、資格取得の対策授業を実施し全コースの学生に平等に機会を与えている結果だと分析している。

・教員の資質向上に関して、各教務で取り組みを強化し定期的に講師会を行って指導をしてきた。今後も継続し、同時に学科を越えて講師全体の資質アップに取り組む予定。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からのご意見等】

・教員の組織体制について、講師のコミュニティが存在していて、生徒の情報交換や業務でのつながりができているよう。

・職員室内でコミュニケーションを取り、そこで輪ができているのはとても好ましいです。

・授業評価アンケートを開始されたとのこと、継続的に実施していただきたいと思います。

【改善方策等】

・今年度も引き続き、Googleフォームを使用し授業評価を実施していきます。またその結果を受け、講師会を実施、カリキュラムに反映させたのちに、達成度をチェックしていくようにしていきます。また、講師の質的向上にも、学生アンケートから得た情報を共有しつつ、講師会議や様々な研修を通して取り組んでまいります。

4 学修成果

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
卒業生の社会的評価を把握しているか	4

・今年度の求人数は339、就職率は58%→89%と大幅にUPした。コロナ期間を終えて、企業側が採用に動き出している。また学科コースに関係のない秘書検定受験者が増加するなど、コロナ禍だということに逃げず就職に向けて前向きな学生の動きが見られた。

・在校生に就職意識を持たせるよう前年より1か月早く協力企業から就職担当者を招き企業説明会を開催。それを就職活動のキックオフとした。業界の現状などを早いうちから学生に共有できた。

・卒業生の就職先の企業とは連携をとり、卒業生の活躍情報をいただいている。また卒業生に対しても就職情報やオーディション情報を在学生同様に共有している。

・就職希望者全員にオリジナルのリクルート手帳を配布した。就職に関する準備、スケジュール、注意事項等の詳細をまとめた非常に使い勝手の良いものと自負できる。就職率の向上に役立つものである。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

・学生側の条件が高くなってきたことは企業側も感じています。企業も変わらないといけない。先方の希望に合わせて、企業側が変わらなくてはならないのかとも思っています。

・学生が望むように就業の環境はよくなっているのかもしれませんが、当社では、残業ができず、給料が足りずやめなくてはならなくなった社員がいます。いろいろな意味で改善が必要になってくるのでは。

・社会人最初の壁を越えられずにやめていく社員もいます。1.2年でやめてほしくはない。難しいとは思いますが、離職防止の為に学校と企業が協力することも必要なのではないかと思っています。

【改善方策等】

・卒業生を送り出した企業とは連携をとっていますが、とてもいい評価をいただいています。より一層社会貢献できるよう専門学校として努めていきます。学生の就職率も高くなってきていますが、目指すところは就職率100%です。しかし委員の方も離職を懸念されています。キャリア教育含め、就職後を意識させるような経験を持たせることも専門学校の使命だと心し、より一層努力してまいります。

5 学生支援

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
退学率の低減が図られているか	4
学生相談に関する体制を整備しているか	4
留学生に対する相談体制を整備しているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4
課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
保護者との連携体制を構築しているか	4
卒業生への支援体制を整備しているか	4

・退学率については10%を切ることはできなかったが、前年度より2%の改善は見られた。密に学生や保護者と連絡を取っており、職員が面談を実施するよう努めている結果だと自負している。

・定期的に学生との個別面談を開催し、学生と教職員間で概ね良好な関係を築くことができている。学生から受けた守秘以外の退学等に関する相談事項は、教職員間で共有し改善に向けての対策を検討する体制がある。

・コロナ禍における留学生支援として、就学状況と経済的状況をヒアリングするため個別面談を実施。留学生からの相談に応じられる体制をとっている。入国までの手続きも留学生と密に連絡を取り実施している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・在学中、退学については、学校の状況というより個々人のやむを得ない理由を多く聞いたことがあります。友達関係、授業達成度など、やはり皆、多かれ少なかれ悩みがあると思いました。友達でも先生でも、相談できる相手がいるといいと思いました。
- ・学生のライブ活動での公欠制度はとても素晴らしいと思います。

【改善方策等】

- ・講師には退学率の低減の意味も含め、平等性を求めるように常に指導をしています。退学率は今年度の重点目標として定めていますので、学校として鋭意取り組んでいく所存です。
- ・卒業生にはデビューのチャンスを共有し、オープンキャンパスでのオープニング出演なども依頼しています。就職先だけではなく、養成所などの進学先、デビュー先の事務所などとも今後密な連携を取っていきたいと思っています。

6 教育環境

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
学内外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

・実習授業で使用する機材に関しては同業界において、定番から最先端のものまで幅広く設置し考えられる中で最適な環境を提供できている。

・イベントのスタッフ研修参加を中心としたインターンシップ制度を実施している。学生の大きな現場経験になるだけでなく、貴重な職業見学の場となっている。今年度、外部イベント研修は学生対象で5回の実施であった。外部イベントは感染対策を十分に実施しているイベントを対象に選定していることを学生に告知し、来年度は更なる参加希望者を募るよう努める。

- ・定期的に学内の点検を実施し、安心安全な学校を維持していく。
- ・全学生を対象とした学生災害傷害保険、学校としては学校賠償責任保険に加入している。また、インターンシップ賠償責任保険等必要に応じた保険に適切に加入している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・学生で作曲するなら、野球におけるグローブと同じでPCが必須となる。しかし、今までは学生が自分でローンを組めなかったので購入できなかった。PCを持っていないと自宅に帰って作業ができないため、学生の技術面での差が広がっていくと思います。
- ・PC必須では。学費にインクルーズしてしまってもいいのではないのでしょうか。最近は、企業も一緒です。企業側で準備しろとなってしましますが。

【改善方策等】

- ・学校では学費で学生全員のipadを準備して配布しています。通常のコースにおいてはipadで十分であっても、それでは対応が難しいコースがあることも再認識いたしました。全員にPC購入を求めることは現時点では難しいとは思いますが、今後学園全体で共有して改善策を探っていきたいと思っています。

7 学生の受け入れ 募集

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4
入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	4
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
経費内容に対し学納金を算定しているか	4
入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	4

- ・高等学校等の進路説明会へ年間250回参加し教育活動等の情報提供を定期的に行っている。
- ・学生募集活動の重要な位置付けとなるオープンキャンパス開催に関して、開催回数の効果的な設定、体験授業の内容を充実させることと、学校説明会の内容を充実させることを常に議論してきた。学校説明会・オープンキャンパスをオンラインで開催するなど、様々な方法で学生との接触の機会を増やしている。
- ・オープンキャンパス開催時には必ず来校者アンケートを実施、オンラインにおいても、オンラインアンケートを実施し、次回開催に向けてアンケートの内容から問題点があれば検証し改善を行ってきた。
- ・入学に関しての選考基準を明確に定め、学校案内送付の際に同封する「募集要項」にて明文化している。募集要項に沿った運用を年間通して行ってきた。
- ・学生募集活動の主要ツールとなる学校案内、募集要項等を作成し、学科毎の教育活動、学習成果等について明確に紹介している。また、ホームページでは学校案内以上の詳細内容を紹介し、あわせてSNSを積極的に活用することで学校生活におけるタイムリーな情報を発信してきた。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・コロナの影響があまりないと聞いて安心しました。これからも頑張ってくださいたいです。
- ・オープンキャンパスで入学を決める学生が多いと聞いています。意欲のある学生の入学が多数あることを期待します。

【改善方策等】

・当校の認知度を上げるために、来年度も引き続き広報活動に取り組んでいきます。同様に、今年度に引き続き、来校型とオンラインでゲストセミナーを実施していきます。在校生のレベルアップと高校生の将来選択の一助になればと思っています。

8 財務

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
教育目標の整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
予算及び計画に基づき適切に執行管理を行っているか	4
私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	4
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか	4

- ・年度毎に募集人数の目標とそれに対する施策を踏まえた予算管理を、部署課それぞれ実施し教育目標との調合性を図っている。
- ・予算及び計画に基づき「計画立案書」と「上申書」を作成し承認されることによって、イベントの計画や教具購入の経費決裁としている。今年度は電子化を進め一層の業務効率化を図った。
- ・目標に定めた募集人数を継続的に達成することにより、学校運営において安定した財務体質を維持していけるよう努力する。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・学園と協力をして透明性のある運営をお願いいたします。
- ・透明性の高い運営をしていると一目でわかるので、HPも非常に良いと思います。

【改善方策等】

・目標に定めた募集人数を継続的に達成することにより、資金面で安定した財務体質を維持していきます。

9 法令等の遵守

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

法令や専修学校設置基準等を遵守し適正な学校運営を行っているか	4
学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策を実施しているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公表しているか	4
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
学校関係者評価結果を公表しているか	4
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

- ・法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている。
- ・自己評価実施に関して学則に記載し専修学校の義務であることから、開校初年度より実施公表している。
- ・毎年学生アンケートを実施し、カリキュラムの構築や講師の指導等に役立てている。
- ・学校関係者評価は「学校関係者評価報告書」としてホームページに掲載し、広く社会に公表している。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・昨年こちらが出していた要望を、今年度はきちんと達成していらして素晴らしいと思いました。
- ・評価や財務等の情報を公開しているページを拝見したのですが、ここまでオープンになっていることで保護者は安心だと思います。
- ・学生さんだけではなく高校生等たくさんの個人情報を取り扱っている点、特に扱いに関して注意が必要だと感じました。

【改善方策等】

- ・自己評価に続き、学校関係者評価の組織体制を整備し評価を実施しています。今回の評価に基づき改善が必要な事象に対しては、真摯に取り組んでいくことを教職員間で確認しています。この評価は学校関係者評価報告書としてホームページに掲載し、広く社会に公表することとします。

10 社会貢献 地域貢献

【自己評価結果、具体的な状況(抜粋)】

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

・市などが開催する音楽イベント等、地域イベントがコロナ禍で中止となったため、過去積極的に参加してきたイベントに今年度参加できていない。また、県内高校の軽音楽部活動支援として校内ライブホールの使用提供、学生スタッフの協力等により、エンタテインメント業界を目指す高校生への支援企画等を行っていたが、こちらもコロナ禍で中止となっている。コロナがおさまったらまた支援を開始したい。

・学内に募金箱を設置し、社会貢献の一環として子ども保護NPO法人等ふたつの団体に寄付をしている。また、募金活動により学生に対して社会貢献の意識付けを行っている。

・ボランティア活動が授業と重なる活動開催日となった場合は、公欠として認め学生が参加し易い状況となっている。

・高校からの要請により教育訓練としての楽器実技等レッスンを往訪開催および来訪開催してきたが、こちらもコロナ禍で中止となっている。

【学校関係者評価】 適切 5/5 不適切 0/5

【委員からの意見等】

- ・当社においても高校生のボランティアなどをお願いしていたが、コロナ禍において、ボランティアの参加がとても難しくなっています。この状況では致し方ないのではないかと。
- ・どんたくなども是非活用されたいと思います。

【改善方策等】

- ・ボランティア活動は大切な社会経験となり得る学生支援であると考えています。アフターコロナにおいて、社会貢献や地域貢献がどのような形で実現できるのか、専門学校としても模索していきたいと考えております。